



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月29日

上場会社名 株式会社 カナデン

上場取引所 東

コード番号 8081 URL <http://www.kanaden.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 本橋 伸幸

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 菅谷 真之

TEL 03-6747-8805

四半期報告書提出予定日 2019年11月5日

配当支払開始予定日

2019年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第2四半期 | 56,781 | 4.4 | 1,199 | 32.0 | 1,269 | 32.8 | 1,811 | 42.3 |
| 2019年3月期第2四半期 | 54,405 | 3.8 | 1,764 | 4.4 | 1,889 | 1.8 | 1,272 | 2.5 |

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,700百万円 (51.2%) 2019年3月期第2四半期 1,125百万円 (30.2%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 63.58 | |
| 2019年3月期第2四半期 | 42.92 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第2四半期 | 72,855 | 44,401 | 60.9 | 1,557.71 |
| 2019年3月期 | 86,801 | 43,224 | 49.8 | 1,517.60 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 44,401百万円 2019年3月期 43,224百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 19.50 | | 19.50 | 39.00 |
| 2020年3月期 | | 23.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 23.00 | 46.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 127,000 | 3.0 | 4,250 | 4.8 | 4,400 | 4.7 | 3,700 | 13.7 | 129.88 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期2Q | 28,600,000 株 | 2019年3月期 | 28,600,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年3月期2Q | 95,230 株 | 2019年3月期 | 117,855 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年3月期2Q | 28,488,611 株 | 2019年3月期2Q | 29,651,578 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報に基づいております。なお、上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料4ページをご参照願います。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2019年11月6日に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなか、引き続き緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦の長期化による中国経済の減速や、欧州経済の悪化等の海外経済の不確実性の影響により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、3ヵ年中期経営計画『CI・J-3 (Challenge&Innovation・Joint)』中間年度として、今後も成長が見込まれる環境・エネルギー関連分野に注力し、成長性に重きを置いた事業領域の拡大を図るとともに、高付加価値なシステム・ソリューションビジネスの展開による収益性の向上に取り組んでおります。

これらの取組みにより、インフラ事業の鉄道会社及び官公庁向けビジネスが好調に推移し売上に貢献しました。一方、利益に関しては、米中貿易摩擦長期化の影響を受け利益率の高いFAシステム事業のFA分野や情通・デバイス事業の半導体・デバイス分野が苦戦しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高につきましては56,781百万円（前期比4.4%増）となりましたが、経常利益につきましては、利益率の高い分野が苦戦したことによる総利益率の低下と、本社保屋移転に伴う一時的な経費増から1,269百万円（前期比619百万円減）となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、旧本社保屋及び土地の売却益 1,433百万円を計上したことから、1,811百万円（前期比538百万円増）となりました。

セグメント別の営業の概況

(単位：百万円)

| | | 前第2四半期 連結累計期間 | 当第2四半期 連結累計期間 | 増減率 |
|-----------|------|------------------|------------------|--------|
| | | | | 増減額 |
| FAシステム事業 | 売上高 | 21,330 | 21,257 | △0.3% |
| | 経常利益 | 1,226 | 993 | △232 |
| ビル設備事業 | 売上高 | 7,449 | 6,419 | △13.8% |
| | 経常利益 | 22 | 6 | △15 |
| インフラ事業 | 売上高 | 11,673 | 17,397 | 49.0% |
| | 経常利益 | △23 | 9 | 33 |
| 情通・デバイス事業 | 売上高 | 13,952 | 11,706 | △16.1% |
| | 経常利益 | 542 | 191 | △351 |

①FAシステム事業

FA分野は、配電制御や回転機器は前年並みに推移したものの、駆動機器、コントローラが中国市場の低迷が続く機械装置メーカー向け受注が低調な推移となりました。

産業メカトロニクス分野は、放電加工機、レーザ加工機ともに前年並みの推移となりました。

産業システム分野は、プラントメーカー向けの電気設備の大口案件を計上し大幅に伸長しました。

その結果、当該事業としては0.3%の微減収に止まりましたが、利益率の高いFA分野の低調が影響し経常利益は232百万円の減益となりました。

②ビル設備事業

設備機器分野は、昇降機は前年並みの推移となりました。一方、受変電設備の需要は情報・通信事業者向けに継続しておりますが、工期の延期等もあり減少となりました。

空調・冷熱機器分野は、低温機器、住設機器は前年並みの推移となったものの、空調機器が低調な推移となりました。

その結果、当該事業としては13.8%の減収となり、経常利益は15百万円の減益となりました。

③インフラ事業

交通分野は、鉄道会社向け受変電設備機器の大口案件により大幅に伸長しました。

社会システム分野は、再生可能エネルギー関連ビジネスである太陽光発電（メガソーラ）案件は前年並みの低調な推移となりましたが、官公庁ビジネスが好調に推移しました。

その結果、当該事業としては49.0%の大幅増収となり、経常利益は33百万円の増益となりました。

④情通・デバイス事業

情報通信分野は、セキュリティに関する需要が継続しているものの、画像映像システムは流通業者向け案件が低調な推移となりました。電子医療装置は、前年並みとなりました。

半導体・デバイス分野は、OA機器向け電子デバイス品が堅調に推移したものの、PC向けハードディスクドライブ用ICはハードディスクドライブの需要が減少し、産業用パワーデバイス及び電子デバイス品は産業機器関連顧客の生産調整の影響により低調に推移しました。

その結果、当該事業としては16.1%の減収となり、経常利益は351百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、72,855百万円（前連結会計年度末比13,945百万円減）となりました。

流動資産は、57,230百万円（前連結会計年度末比11,129百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、現金及び預金が748百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が10,920百万円減少、有価証券が1,199百万円減少したことが主要な要因であります。

固定資産は、15,625百万円（前連結会計年度末比2,816百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、工具、器具及び備品が365百万円増加した一方で、土地が1,674百万円、投資有価証券が249百万円、繰延税金資産が1,138百万円減少したことが主要な要因であります。

一方、流動負債は、26,675百万円（前連結会計年度末比14,598百万円減）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、電子記録債務が1,291百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が9,956百万円減少、前受金が3,287百万円減少、未払法人税等が1,819百万円減少したことが主要な要因であります。

固定負債は、1,778百万円（前連結会計年度末比524百万円減）となりました。

純資産は、44,401百万円（前連結会計年度末比1,177百万円増）となりました。これは、前連結会計年度末と比較して、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,811百万円計上、土地再評価差額金取崩額が1,143百万円、配当金の支払が555百万円あったことにより、利益剰余金が2,398百万円増加した一方で、その他の包括利益累計額の土地再評価差額金が1,143百万円減少したことが主要な要因であります。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は60.9%、1株当たり純資産額は1,557円71銭となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当社グループの当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ452百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には15,948百万円（前連結会計年度末比2.8%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、源泉である税金等調整前四半期純利益について2,649百万円（前年同期は1,883百万円）を確保出来たことに加え、売上債権の減少10,397百万円があった一方、仕入債務の減少8,640百万円、たな卸資産の増加が830百万円、賞与引当金の減少が418百万円、固定資産売却益1,433百万円、法人税等の支払額が1,929百万円あったこと等により、655百万円の収入（前年同期は3,612百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却による収入144百万円があった一方、有形固定資産の取得による支出664百万円、無形固定資産の取得による支出30百万円があったこと等により、509百万円の支出（前年同期は251百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払553百万円があったこと等により、560百万円の支出（前年同期は513百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦長期化の影響を受け利益率の高いFAシステム事業のFA分野や情通・デバイス事業の半導体・デバイス分野が苦戦しました。

また、第3四半期以降についても景気の先行きは不透明感が強く、引き続き厳しい状況で推移するものと予測しております。

これらの状況を踏まえ、2019年5月14日に公表した2020年度3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたします。

| | 売上高 (百万円) | 営業利益 (百万円) | 経常利益 (百万円) | 親会社株主に帰属 する当期純利益 (百万円) | 1株当たり当期純利益 (円 銭) |
|-----------|--------------|---------------|---------------|------------------------------|---------------------|
| 前回発表予想(A) | 130,000 | 4,800 | 4,850 | 3,700 | 129.91 |
| 今回修正予想(B) | 127,000 | 4,250 | 4,400 | 3,700 | 129.88 |
| 増減額(B-A) | △3,000 | △550 | △450 | — | |
| 増減率(%) | △2.3 | △11.5 | △9.3 | — | |
| (ご参考)前期実績 | 123,337 | 4,465 | 4,617 | 3,253 | 110.05 |

なお、当期の配当につきましては、前回配当予想（第2四半期末23円、期末23円、年間46円）からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 7,901 | 8,649 |
| 受取手形及び売掛金 | 37,346 | 26,425 |
| 電子記録債権 | 6,055 | 6,547 |
| 有価証券 | 8,999 | 7,799 |
| 商品及び製品 | 4,478 | 5,296 |
| 原材料及び貯蔵品 | 3 | 2 |
| その他 | 3,576 | 2,510 |
| 貸倒引当金 | △2 | △1 |
| 流動資産合計 | 68,359 | 57,230 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 10,454 | 9,041 |
| 無形固定資産 | 302 | 331 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 6,025 | 5,776 |
| その他 | 1,661 | 479 |
| 貸倒引当金 | △2 | △2 |
| 投資その他の資産合計 | 7,684 | 6,252 |
| 固定資産合計 | 18,441 | 15,625 |
| 資産合計 | 86,801 | 72,855 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 26,426 | 16,470 |
| 電子記録債務 | 3,683 | 4,975 |
| 未払法人税等 | 2,043 | 224 |
| 賞与引当金 | 1,228 | 810 |
| 役員賞与引当金 | 99 | 27 |
| その他 | 7,791 | 4,167 |
| 流動負債合計 | 41,273 | 26,675 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 1,498 | 1,497 |
| その他 | 804 | 280 |
| 固定負債合計 | 2,303 | 1,778 |
| 負債合計 | 43,576 | 28,453 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,576 | 5,576 |
| 資本剰余金 | 5,353 | 5,356 |
| 利益剰余金 | 29,124 | 31,523 |
| 自己株式 | △152 | △122 |
| 株主資本合計 | 39,901 | 42,332 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,614 | 1,528 |
| 土地再評価差額金 | 1,521 | 378 |
| 為替換算調整勘定 | 11 | △37 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 174 | 199 |
| その他の包括利益累計額合計 | 3,322 | 2,068 |
| 非支配株主持分 | - | - |
| 純資産合計 | 43,224 | 44,401 |
| 負債純資産合計 | 86,801 | 72,855 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 54,405 | 56,781 |
| 売上原価 | 46,977 | 49,567 |
| 売上総利益 | 7,427 | 7,214 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,663 | 6,015 |
| 営業利益 | 1,764 | 1,199 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 9 | 12 |
| 受取配当金 | 73 | 91 |
| 仕入割引 | 12 | 12 |
| 為替差益 | 43 | - |
| その他 | 36 | 38 |
| 営業外収益合計 | 175 | 154 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 5 | 5 |
| 売上割引 | 29 | 34 |
| 為替差損 | - | 29 |
| その他 | 14 | 14 |
| 営業外費用合計 | 49 | 83 |
| 経常利益 | 1,889 | 1,269 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 1,433 |
| 投資有価証券売却益 | 0 | 13 |
| ゴルフ会員権売却益 | 0 | - |
| 特別利益合計 | 0 | 1,447 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | - | 62 |
| ゴルフ会員権評価損 | 6 | - |
| 固定資産除却損 | 0 | 5 |
| 特別損失合計 | 7 | 68 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,883 | 2,649 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 338 | 179 |
| 法人税等調整額 | 272 | 659 |
| 法人税等合計 | 610 | 838 |
| 四半期純利益 | 1,272 | 1,811 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | - | - |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,272 | 1,811 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 1,272 | 1,811 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △78 | △86 |
| 為替換算調整勘定 | △50 | △49 |
| 退職給付に係る調整額 | △18 | 25 |
| その他の包括利益合計 | △147 | △110 |
| 四半期包括利益 | 1,125 | 1,700 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,125 | 1,700 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,883 | 2,649 |
| 減価償却費 | 101 | 110 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △706 | △418 |
| 受取利息及び受取配当金 | △82 | △103 |
| 支払利息 | 5 | 5 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 9,650 | 10,397 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △445 | △830 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △5,359 | △8,640 |
| 固定資産売却益 | - | △1,433 |
| その他 | △452 | 751 |
| 小計 | 4,593 | 2,488 |
| 利息及び配当金の受取額 | 81 | 102 |
| 利息の支払額 | △5 | △6 |
| 法人税等の支払額 | △1,057 | △1,929 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 3,612 | 655 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △66 | △0 |
| 定期預金の払戻による収入 | 67 | - |
| 有形固定資産の取得による支出 | △89 | △664 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △94 | △30 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △78 | △5 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 11 | 144 |
| その他 | △2 | 47 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △251 | △509 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 配当金の支払額 | △502 | △553 |
| その他 | △10 | △6 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △513 | △560 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △8 | △37 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 2,838 | △452 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 16,889 | 16,400 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 19,727 | 15,948 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-------------------|----------|--------|--------|-----------|--------|
| | FAシステム事業 | ビル設備事業 | インフラ事業 | 情通・デバイス事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 21,330 | 7,449 | 11,673 | 13,952 | 54,405 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 56 | 25 | 8 | 46 | 137 |
| 計 | 21,387 | 7,475 | 11,682 | 13,998 | 54,543 |
| セグメント利益又は損失(△) | 1,226 | 22 | △23 | 542 | 1,768 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,768 |
| 全社費用(注) | 121 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 1,889 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | |
|-----------------------|----------|--------|--------|-----------|--------|
| | FAシステム事業 | ビル設備事業 | インフラ事業 | 情通・デバイス事業 | 計 |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 21,257 | 6,419 | 17,397 | 11,706 | 56,781 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 66 | 26 | 0 | 36 | 130 |
| 計 | 21,324 | 6,445 | 17,398 | 11,743 | 56,911 |
| セグメント利益 | 993 | 6 | 9 | 191 | 1,201 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|-------|
| 報告セグメント計 | 1,201 |
| 全社費用（注） | 68 |
| 四半期連結損益計算書の経常利益 | 1,269 |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。